

太古点への 浪漫

Romanesque Town Hanawa

歴史の面影が揺れて、
古人の鼓動が響く町、
はなわ。



木造如意輪観音菩薩坐像

埜町の歴史を紐とくと、縄文・弥生時代にさかのぼり、町のあちこちでこの時代の遺跡が多数発見されていることから、かなり早い時期から人々が定住し、今に続く営みを繰り返してきたと思われまふ。そして中世には結城氏や佐竹氏の支配下に治められ、近世には幕府の直轄領となり、名代官として名高い寺西封元などがこの地を治めます。

明治に入ると棚倉藩に編入された後、明治4年の廃藩置県によって棚倉県に属し、その後、平県、磐前県、そして明治9年に福島県に含まれ、明治22年の市町村制施行により常豊村、笹原村、高城村、石井村が成立。

昭和23年、常豊村に町制を施行して埜町と改称。いくつかの合併を経た後、昭和44年、矢祭町との境界を変更して現在の埜町が生まれます。

町を歩けば歴史を今に伝える数々の史跡や文化財がひっそりと佇み、改めてこの町を流れた時間の豊かさを感じます。

埜探訪

歴史、文化、伝統を探る
Hanawa heartfelt road

名代官・寺西封元

寺西封元は寛政4年、陸奥代官に任じられ、文化11年までの22年間、埜に在陣しました。寺西代官は、荒廃した農村の立て直しに全精力を傾けるとともに、当地のさまざまな民風を改めるため、「寺西八ヶ条」や「子孫繁昌手引草」などを配布し、民衆教化を積極的に進めました。こうした精神は、現在、町が進めている「人づくり」や「町づくり」に受け継がれています。

